



横浜のチャレンジする中小企業を応援します!!

IDEC NEWS LETTER

NO.28 WINTER 2019

(年4回発行)

(横浜市中小企業支援センター)

<http://www.idec.or.jp>



■ Contents

- 01 小規模事業者の販路開拓支援事例
- 02 身につけて、歩ける椅子(ニットー)
スマートものづくり応援隊
- 03 入居企業紹介(おいぬビジョン)
第1回中国国際輸入博覧会出展報告
上海事務所レポート(樋口鐵工所)
- 04 各種お知らせ

[発行]公益財団法人 横浜企業経営支援財団 〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7F TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737

規模は小さいけれど、商品・サービスに自信あり!

～小規模事業者の販路開拓をお手伝い～

経営規模の小さな事業者にとって、強みをいかした商品・サービスはビジネスを継続する上で欠かすことはできない要素です。IDEC 横浜へのご相談をきっかけに、その強みをさらにかき立て販路開拓に成功した小規模事業者の皆さまをご紹介します。

● 他では買えない1点物です — akkaの手描き服(金沢区)



相談者の三宅さん(左)と重松アドバイザー(右)

三宅さんは、京都で手描き友禅の修行をした本格的な染色作家。現代風に和柄をアレンジした手描き服の売上が伸び悩み IDEC 横浜へ相談に来られました。そこで、売上アップに向け、IDEC 横浜の販路開拓アドバイザーが、商品構成や販売方法などを具体的にアドバイス。課題を一つ一つ解決していくことで、ECサイトでの売上実績は相談当初と比べ、20%UPを達成しました。あわせて実際に商品に触れられる展示販売会を定期的で開催し、リアルな販売ルートを確立。手描き服ファンを増やしています。

● 真剣に練習したい人のためのゴルフ練習場 — スイングファクトリー(中区)



スイングファクトリーの
小竹社長

ゴルフのレッスンプロでもある小竹社長は、昨年8月、監視システム等による無人管理を取り入れ、24時間利用できる会員制インドアゴルフ練習場を京浜急行線「黄金町駅」前にオープンしました。オープンにあたり、IDEC 横浜では広告プロモーションを中心に集客支援を実施。オープン3か月で会員数が100名を超える等、順調にスタートしています。小竹社長は、「IDEC 横浜を活用し、具体的な集客策を実行することができた。この店舗を軌道に乗せ、今後は多店舗展開を図っていきたい。」と意気込みを語っています。

● 正確な製版技術が強み – 前田製版所(南区)



前田製版所の前田社長

横浜の地場産業であるハンカチやスカーフなどの捺染の型を製造する前田製版所では、捺染業の衰退から取引先が減少、売上が低迷していました。前田社長からの相談を受けた IDEC 横浜は、地元以外の新規取引先の開拓を提案。営業ツール作成や商談同行等の支援を実施し、前田社長自身も展示会や電話等の営業活動に取り組み、半年で5件の新規顧客の開拓に成功しました。

「経験がなく営業の必要を感じながら、方法がわからず行動に移せなかった。支援をきっかけに自社の製版技術を必要としている人が、横浜以外にいたことがわかった。今後も営業活動に取り組み、取引先を増やしていきたい。」と前田社長は語っています。

● 焼きたて・揚げたてが食べられます — いずみ野宝屋(泉区)



いずみ野宝屋の渡辺社長

いずみ野宝屋は、相鉄線「いずみ野駅」前で40年以上精肉店を営んでいましたが、駅前再開発による店舗移転後に売上が減少、なかなか回復できずにいました。渡辺社長から相談を受けた IDEC 横浜では、はじめに売れ筋、死に筋の商品を検証。その結果をもとに、揚げたてのお総菜やその日に串打ちした焼きたての焼き鳥、自家製チャーシューなどの人気商品の表示や陳列方法を工夫し、サラダ類も小家族向けの小分けに変更しました。また、精肉の卸先やお弁当の配達先といった法人向け営業に力を入れ、取引先は前年の2倍程度に拡大しました。全体での売上は、前年度比15%UPを達成し、更なる売上向上を目指しています。

「身につけて、歩ける椅子。」アルケリス製品発表会を開催

昨年 11 月、各所から注目を浴びていたニトー（金沢区）の製品「アルケリス」がついに製品発表会でお披露目され、全国へのレンタルを開始しました。



開発・販売関係者とパチリ

当日は報道関係者など 70 名を超える参加者が見守る中、共同開発パートナーである自治医科大学 教授 川平 洋先生、千葉大学 准教授 中村 亮一先生、デザイナーの西村ひろあき氏をはじめ、側面からサポートした横浜市や IDEC 横浜なども加わって、多方面からアルケリス開発にまつわるストーリーが語られました。「ものづくりが大好き」という藤澤社長の思いと真摯な姿勢が伝わる発表会となりました。

開発のきっかけは、4 年前の川平先生と中村先生との打合せです。その後、デザイナーの西村氏からアドバイスを受けながら開発を進めました。課題は「手術中の医師への負担を軽減する」こと。しかし、手術室は限られた空間内で電波干渉や術中の医師の立ち位置など制約が多く、普通の椅子では対応できません。そこで考えたのが、メカニカルな

機構だけで実現した「身につけて歩ける全く新しい概念の椅子」でした。

一般的な製品は 2～3 回の試作でユーザーのニーズを満たすことを目指しますが、アルケリスの場合は装着感にも徹底的にこだわった結果、約 3 年かけて 14 回もの試作を繰り返しました。機能性を追求した結果、デザインも非常にスマートなものになり、グッドデザイン賞 2018 でベスト 100 に選出。さらにグッドフォーカス賞技術伝承デザインとして、中小企業庁長官賞も受賞しました。

まずは国内でのレンタル事業をスタートさせ、東日本を担当するオリンパスメディカルサイエンス販売、西日本を担当するジンマー・バイオメットとともに、国内への普及を図ります。

アルケリスは産学官の協力によって生まれた医工連携の成果であり、中小企業が新分野に活路を見いだした好例として、後に続く開発の動機付けにもつながるものと期待されます。IDEC 横浜では、横浜発の医療機器開発を目指して市内企業の製品開発や、メーカー・医師とのマッチングなどを支援しています。医療機器ビジネスの展開を検討の際には是非ご相談ください。



アルケリスを熱くプレゼンする藤澤社長

archelis (アルケリス) の詳細はこちら <https://www.archelis.com/>

問 技術支援担当 045-225-3733

改善の積み重ねで大きな効果「スマートものづくり応援隊」

IDEC 横浜は、市内中小企業の皆さまの生産性向上を促進することを目的に、IoT 導入に向けた専門人材の育成を行う「スマートものづくり応援隊スクール事業」全 11 回（7 月～10 月）を実施しました。育成した専門家「IoT 化支援アドバイザー」を昨年 11 月から市内中小企業に派遣し、生産性向上に向け課題抽出から導入前の環境整備、IoT ツールを使った改善提案、導入後のフォローアップまで幅広くアドバイスを実施しています。

当スクール事業では、今年度から「現場実習」を導入し、より現場において活用できる内容としました。現場実習では、ベアリングリテーナー製造を営む山喜（金沢区）、板金・塗装・電気組立て配線を営むバネックス（港北区）に受け入れていただき、ヒアリング・工場見学を経て改善提案を行いました。

IoT 化支援アドバイザーの改善提案を受け、山喜の山崎社長から、「当社は、IoT を活用したファクトリーマネジメントシステムを既に確立しているが、また違った視点でア

ドバイスをもらい、非常に有意義だった」との感想をいただきました。

IDEC 横浜では、IoT 化に関心のある市内中小企業へ「IoT 化支援アドバイザー」を派遣し、懇切丁寧にアドバイスを実施。言葉だけが一人歩きしていますが、IoT の活用は小ロット多品種を多く扱う中小企業においても改善を地道に積み重ねれば大きな効果があると考えます。いつでもご相談に応じております。お気軽にご活用ください。



現場実習の様子（山喜）

IoT に関する相談や専門家派遣についてのお問合せはこちら

問 技術支援担当 045-225-3733

Pick Up

小型高感度カメラで広がる世界

インキュベーション施設「横浜新技術創造館 リーディングベンチャープラザ (LVP)」入居企業
おいめビジョンのご紹介

同社は映像関連機器の研究開発型ベンチャーとして2012年の創業以来、設計・開発を担当する小堀氏を中心に製品開発に取り組んでいます。

LVP入居後は、IDEC横浜の支援メニューを活用し、公的助成事業に採択されたほか、テクニカルショウヨコハマへの出展を契機に、日本テレビと共同でプロ野球の球審マスクに装着する超小型カメラを開発。より高画質化に向けた4Kカメラの研究開発をはじめ、ラグビーのレフリー用やバレーボールのネットへの装着用薄型カメラ開発など、この技術

をいかした用途は広がりを見せています。

このほかにも暗い場所や夜間に物が見えづらくなる夜盲症(やもうしょう)の方々の支援を目的とした「暗所視(あんしょし)支援眼鏡(光学機器メーカーのHOYAが昨年11月から発売開始)」の開発に携わるなど、更なる展開に向けた取組を推進しています。

世界的にもまれなこの眼鏡の製品化にあたり、試行錯誤を重ねた結果、暗所での僅かな光を増幅させることで対象物の色彩を自然に再現する小型高感度カメラの開発に成功し、鮮明に映し出すことを実現しています。

小堀氏は、「顧客ニーズにきめ細かく対応し、ニッチな分野で着実に販路を拡大していきたい」と語っています。

※暗所視…夜間など暗い照明条件下における視覚。



暗所視支援眼鏡(中央の小型カメラ部分を開発)

横浜新技術創造館リーディングベンチャープラザ(LVP)の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shisetsu/lvp/> 問 鶴見末広センター 045-508-7450

世界も注目！第1回中国国際輸入博に出展！ 横浜上海友好都市
提携45周年記念

昨年11月、第1回中国国際輸入博覧会が上海で開催されました。本展示会は、貿易自由化・経済グローバル化を推進し、開放型の世界経済発展を促進する見本市と位置付けられており、習近平氏も「この展示会を活用し、今後15年間の中国の輸入額を30兆ドルに増やす」と開会式で述べていました。

展示会は、「国家展」と「企業出展エリア」で構成され、企業出展エリアには151の国や地域から3,671社が、世界初又は中国初の製品や技術、サービス等を出展。72の国や地域から3,600社を超えるバイヤーが来場しました。

IDEC横浜は「横浜ライフインベーションプラットフォーム(LIP.横浜)」の一環として、JETRO主催のジャパンパビリオン「医療機器・医薬保健」分野に横浜ブースを出展。市内企業4社が自社製品・サービスを展示しました。6日間の会期中、同ブースには636名が訪れ、商談社数は114社

に達しました。

出展者からは「今回、様々なコネクションを持つことができた。今後は事業の発展とともに、更なる挑戦を海外で行いたい」、「IDEC横浜上海事務所やサポートデスクの周到的なアテンドにより展示会は大成功で、中国市場に向けて大きく発信できたと感じた」といった感想が寄せられました。

IDEC横浜では、海外市場の開拓や自社製品の輸出を目指す市内企業に対し、展示会出展支援をはじめ、専門家のアドバイスや拠点設置調査の支援などを行っています。是非ご活用ください。



医療・健康関係の企業トップが来場して賑わった

国際ビジネス相談の詳細はこちら <https://www.idec.or.jp/kaigai/soudan/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

IDEC横浜
上海事務所レポート 安心・安全なガラス製ピン機械用部品の中国展開

樋口鐵工所(旭区)は、1968年に創業以来、製ピン機械用部品等の製造・販売を専門に行ってきました。日本での将来的な生産に不安を感じ、2006年2月に上海(嘉定区)に進出しました。今では上海工場の従業員数(12名)が横浜工場(5名)を超えるまでに成長し、2拠点での安定した生産が可能となりました。

IDEC横浜への相談は、輸出や進出検討では横浜本部、現地での材料調達や工場立ち抜き要請への対応などでは上海事務所を利用しました。リーマン・ショックが大きな転機となりましたが、年間受注契約をとっていたために影響が少なく、むしろ優秀な人材の獲得につながったそうです。「よい人材との出会

いに恵まれて、ここまですることができました。」と樋口社長は語ります。事業開始から社長を支えた副総経理や現地生産を担うまでに成長した技能者の存在です。海外進出により欧米の製ピンメーカーとの取引も実現し、「自ら足で稼いだ上海周辺の顔の見えるサプライチェーンはかけがえのない財産、上海に進出することにより会社が大人になりました。」と振り返ります。

近年、3R(リデュース、リユース、リサイクル)など、環境配慮の観点からガラス製の取扱いが見直され、また、過酷な環境で使用される製ピン機械のオーバーホールのニーズもアジア中心に高まっており、今後の10年

に向け、それらの対応検討も始まっています。

中国に進出した日系企業の苦戦が報じられる中、樋口鐵工所の海外展開は小規模事業者の成功事例として注目されています。引き続き、IDEC横浜は身近な相談相手として応援していきます。



上海の工場内

上海事務所の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shanghai/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

「横浜ものづくり企業ガイド 2018」発行

- イノベーションを目指す横浜の企業 194 社を紹介
- 新規発行の海外版 (英語)
「Yokohama Business Bridge 2018」も同時発行!

IDEC 横浜のセミナーやイベント等で配布しています。また、窓口にて個別配付 (無料) も行っています。次年度の掲載についてご関心のある方はお問合せください。

日本語版



英語版



問 地域密着型支援担当 045-225-3725

テクニカルショウヨコハマ 2019 入場料無料 (登録制) IDEC 横浜 産学・企業間連携コーナー出展!!

- 連携大学・機関等の最新研究シーズを紹介
 - IDEC 横浜 インキュベーション施設入居企業の技術、製品の展示
 - オープンイノベーションによる開発製品、支援企業の最新技術・製品の展示
- たくさんの方のご来場、お待ちしております!!



日時: 2019年2月6日(水)~2月8日(金) 10:00~17:00
場所: パシフィコ横浜展示ホール A・B・C

問 地域密着型支援担当 045-225-3725

横浜ビジネスグランプリ 2019 ファイナル

多数の応募者の中から、書類審査、プレゼンテーション審査を経て選ばれたファイナリストの10名が、ステージで熱いプレゼンテーションを展開します。また、イベント終了後にはファイナリスト、経営者、投資家等が集う交流会も開催します。



日時: 2019年2月23日(土) 13:30~17:15 (交流会 17:30~18:30)
場所: ランドマークホール ※観覧等の申込みは、HPにて1月中旬から開始予定

問 経営支援担当 045-225-3714

広告 横浜の中小企業の「明日」を身近でサポート

- 消費増税の対応
- 設備の更新
- 事業承継のご相談



信用保証協会は、中小企業・個人事業主のみなさまが金融機関から事業資金を借入する際の公的な保証機関です。

お気軽にご相談ください

横浜市信用保証協会

検索



 横浜市信用保証協会

横浜市中区山下町22番地
TEL: 045-662-6623

広告 第29回 横浜ビルメンフェア



環境に配慮したビルメン用品等の展示即売!!

開催日時: 平成31年2月6日(水) 10:00~16:00

会場: 横浜産貿ホール

みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩約5分

<http://www.hamakankyo.or.jp/>

最新の資機材を用意
してお待ちします



主催: 横浜建物管理協同組合 ☎ 045-250-3601 ビルメンテナンスの事ならお気軽にご相談ください!

広告の内容に関する一切の責任は、広告主に帰属します。



IDEC 横浜は、市内中小企業・小規模事業者の皆さまと顔の見える関係を構築し、その関係をいかした支援を行うため、職員が直接企業現場へ訪問するとともに、各地域でセミナーや相談会を開催しています。本号でも、IDEC 横浜の支援事例をいくつかご紹介させていただきました。これからも、身近な相談・支援機関として皆さまのお役に立てよう職員一同努めてまいります。是非、IDEC 横浜の支援メニューをフル活用いただけたらと思います。